

2020年10月11日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第27号(通算3204号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

神様が創られたすべての命を
大切に作る教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

神学校日 聖霊降臨節 第20主日礼拝

《新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。インター
ネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂けます》

前奏 黙祷

招きの詞 出エジプト記

賛美歌 6番「つくりぬしを賛美します」(©教団讚美歌委員会)

聖書 出エジプト記

マタイによる福音書

15章 2節

17章 1-7節

4章 1-2節

お祈り

賛美歌 463番「わが行くみち」(©著作権消滅)

メッセージ 「荒野で神に会いに行こうや」 岡嶋 千宙 伝道師

賛美歌 390番「主は教会の基となり」(©教団讚美歌委員会)

主の祈り (2頁をご参照ください)

献げ物 (*)

派遣 91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 岡嶋 千宙 伝道師

後奏 アーメン コーラス (40-6番) (©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《礼拝は自由席です。おとなりの方との間隔をあけて、席にお座りになった
ままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 出エジプト記 15章 2節

主は私の力、私の盾、私の救いとなられた。

この方こそ私の神。私はこの方をほめたたえる。

私の父の神。私はこの方を崇める。

聖書 出エジプト記 17章 1-7節

¹ イスラエル人の全会衆は、主の命によりシンの荒れ野を出発し、旅を重ねて、レフィディムに宿営した。しかし、そこには民の飲む水がなかった。² 民はモーセと言い争いになり、「飲み水をください」と言った。モーセは彼らに言った。「なぜあなたがたは私と言い争うのか。なぜ主を試すのか。」³ しかし、民はそこで水を渴望し、モーセに対して不平を述べた。「私たちをエジプトから上らせたのは何のためだったのですか。私や子どもたちや家畜を渇きで死なせるためだったのですか。」⁴ そこでモーセは主に叫んだ。「私はこの民をどうすればよいのでしょうか。彼らは今にも私を石で打ち殺そうとしています。」⁵ 主はモーセに言われた。「民の前を通り、イスラエルの長老を何名か一緒に連れて行きなさい。ナイル川を打ったあなたの杖も手に取って行きなさい。⁶ 私はホレブの岩の上であなたの前に立つ。あなたがその岩を打つと、そこから水が出て、民はそれを飲む。」モーセはイスラエルの長老たちの目の前でそのとおりに行った。⁷ そして、モーセはその場所を^aマサと^bメリバと名付けた。イスラエルの人々が、「主が私たちの間におられるのかどうか」と言って、モーセと言い争い、主を試したからである。

(脚注 a:「試し」の意、b:「争い」の意)

マタイによる福音書 4章 1-2節

¹ さて、イエスは悪魔から試みを受けるため、霊に導かれて荒れ野に行かれた。

² そして四十日四十夜、断食した後、空腹を覚えられた。

主の祈り (日本聖公会・カトリック教会共同訳)

天におられる私たちの父よ、み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われる通り、地にも行われますように。

私たちの日ごとの糧を、今日もお与えください。

私たちの罪をおゆるしくください。私たちも人をゆるします。

私たちが誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。

《先週のメッセージより》10月4日世界聖餐日（聖霊降臨節第19主日）礼拝
メッセージ「言葉ではなく、生きざまに信頼する」より 牛田 匡 牧師

聖書：ヨハネによる福音書 10章31-42節

今回の聖書のお話は、イエス様の言葉と行動についての、ユダヤ人との問答の場面でした。イエス様が「私は、父から出た多くの善い業をあなたがたに示してきた。そのどの業のために、私を石で打ち殺そうとするのか」と言ったのに対して、ユダヤ人たちは「善い業のことで、石で打ち殺すのではない。神を冒瀆したからだ。あなたは人間なのに、自分を神としているからだ」と答えました。それに対してイエス様はヘブライ語聖書の「詩編」の言葉を引用して返答されました。「あなたがた指導者は、神々にたとえられる程に、尊い存在ではないか、それなのに何故、天地の創り主である神様の思いに従って行動しないのか。いつまで不正を続け、弱く貧しくされている人々を放っているのか」、また「もし、私が父の業を行っていないのであれば、私を信じなくてもよい。しかし、行っているのであれば、私を信じなくても、その業を信じなさい」とも言われました。

そもそも「神の言葉」と訳されている言葉は、聖書に書かれている文字のことではなく、「神の働いた出来事」のことです。ですからイエス様が言われたのは、「私が行った業を見れば、それが人から出たものか神から出たものかが分かるでしょう。神様の御心に適った業が行われる時、そこには紛れもなく神様の力が働いている。それが神様が共におられる証しである」というわけです。

今日は「世界聖餐日」です。「聖餐」は英語で「communion」と言いますが、語源は「共に (com-)・一つになる (union)」です。一つの食卓を共に囲み、一つのパンを分け合って食べる。食べるという行為はそのまま命の維持に直結する行為で、生きて行くために不可欠なことです。またイエス様自身が十字架によって殺され、三日の後に死から引き起こされたことの象徴として、裂かれたパンとぶどう酒を頂くことを通して、私たちもまた復活のイエス様と共に生きる者とされていることを覚えます。それは決して「自助」や「自己責任」で語られるような自分の力ではなく、神様の側からの一方的な呼びかけであり、招きであり、恵みです。私たちはイエス様が言われたように、言葉ではなく、その業に注目し、その生きざまに信頼して従って行きます。世界にはまだまだ差別があり、対立、争いがあります。社会の中では格差もますます拡大しています。そのように分断ばかりが目につく世の中にあっても、共に一つとなって生きて行くように、神様と隣人たちと共に一つになるように、私たちは今日も招かれています。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (10月4日)

礼拝出席 大人7名 献金 7,000円 感謝

◎次週 2020年10月18日(日) 聖霊降臨節第21主日礼拝

招きの詞 エレミヤ書

29章7節

聖書 フィリピの信徒への手紙

3章5-21節

メッセージ「国籍は天に、暮らしはこの場所に」牛田匡牧師

賛美歌 522番(©JASRAC) 454番(©教団讃美歌委)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。

◎お知らせ

- ・10月8日(木)に さんが天に召され、昨日近親者のみでの告別式が行われました。突然の別れに戸惑いを覚えています、深い悲しみの中にあるご遺族や皆様の上に、命の神様からの慰めと癒しがありますように、お祈りいたします。
- ・本日、礼拝後に「聖書を読む会」を行います。テキストは『創世記』25章で、コピーを配布いたします。お時間の許す方はどなたでもご参加ください。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、教会では引き続き、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあげた着席をお願いいたします。また教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加くださいますように、ご検討ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載いたしますので、そこからダウンロードして頂くことができますし、ご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。必要な方には、教会の『聖書』と『讃美歌』を貸し出しいたしますので、お申し出ください。
- ・10月23日～11月23日にかけて、関西学院こどもセンターより「子どもの不安とイライラに身近な大人ができること」(講師：佐藤寛氏)というウェブ講座が開催配信されます。幼児期・児童期の子どもによくみられる、不安な気持ちやイライラした気持ちに、周囲の大人はどのように寄り添えばよいのでしょうか。「認知行動療法」という心理療法の視点から、子どもの不安やイライラへのかかわり方についての解説です。受講は無料ですが、11月16日までに申し込む必要があります。対象は保育士や幼稚園教諭、施設職員などの指導者です。



◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

	会場	メッセージ	行事
10/18	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	
10/25		牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
11/1		牛田牧師	(愛児祝福月間)永眠者記念礼拝 ユーカーリスト・教会を考える会
11/8		牛田牧師	(愛児祝福月間)

関西学院子どもセンター 発達支援事業主催
Web配信講座

子どもの不安とイライラに 身近な大人ができること

受講料 無料
要申込み
(～11/16迄)

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年実施していた「講演会・研修会」の開催を今年度は実施することができません。代わりにWeb配信講座を行います。Web配信のため、インターネット環境があれば、会場費等は必要ありません。お申し込みいただいた方に、視聴用のURLをお送りしますので、下記QRコードよりお申し込みください。

講師 佐藤 寛氏 (関西学院大学 文学部教授)

講師紹介 臨床心理士・認知行動療法 臨床心理士。発達心理学の分野で、子どもの心身や発達に寄り添うための実践的指導を専門とされています。特に認知行動療法の視点に基づいた心理療法の臨床心理士、教育心理士、特別支援学、スティーブセンズと1つの分野に精通されています。

講座内容 幼児期・児童期の子どもによくみられる、不安な気持ちやイライラした気持ちに、周囲の大人はどのように寄り添えばよいのでしょうか。「認知行動療法」という心理療法の視点から、子どもの不安やイライラへのかかわり方について解説します。

配信期間 2020年10月23日(金) 12:00～11月23日(祝月) 24:00

対象 保育士、幼稚園・小学校教諭、施設職員など指導者
※保護者の方はお申込みできません

申込み 右記QRコードよりお申し込みください。QRコードが読み取れない場合は、下記アドレスまでご連絡ください。

問合せは、下記メールにてお問合せください
メール k.g.wing-kouenkai@kansai.ac.jp
関西学院 子どもセンター 発達支援事業 ういんぐ